

安城市自動ドア管理指針

この指針は、次のことを定めることにより、自動ドアを安全に、長期的に使用することを目的とする。

1 自主点検（日常点検・定期点検）

自動ドアの起動時に、次の点検を行う。

（1）動作状況や作動音の確認をする。

起動時にいつもと違うことを感じたら、保守点検業者へ問い合わせをする。明らかに故障している場合はスイッチを切り、大至急、保守点検業者に連絡をする。ドアが手動でも動かない場合等は、ドアが外れることもあるので、動かさないようにする。

（2）ドアの下のレール（みぞ）の異物の有無の確認をする。

レールにごみ等の異物があると故障の原因となるため、異物の有無を確認し、異物がある場合は掃除をする。外部に面した設置場所では、とりわけ落葉時期や暴風雨の後等は注意する。

（3）センサの汚れの確認をする。

センサの検知窓にほこりなどが付着すると、センサ感度が鈍くなり、不具合の原因になる恐れがあるため、センサが汚れた場合はきれいな乾いた布で拭き取る。

2 不具合時の報告

保守点検業務にて故障等の不具合が報告された場合は、業者から提出される「保守点検等結果報告書」の写しを、その都度経営管理課施設計画係へ提出し、速やかに「異常・不具合報告書」を作成する。保守点検業務の委託を行っていない施設について、不具合があった場合、「異常・不具合報告書」を作成する。「異常・不具合報告書」は経営管理課施設計画係へ写しを提出する。

3 その他

春や秋で空調を使用していないときは、状況に応じて自動ドアを開けたままにする等の省エネ対策を行い、環境への配慮をする。